

令和5年11月27日

会 議 録

審議会等の名称	令和5年度 函南町水道事業審議会
庶務を担当する所属	建設経済部 上下水道課
会議の開催の日時	令和5年10月24日(火) 午前・ 午後 3時
会議の開催場所	函南町役場 4回 特別会議室
出席者(職・氏名)	函南町水道事業審議会委員 14名 会長 八木戸一重 委員 田口彰一、野田哲郎、野田道子、渡邊正樹、 渡邊節夫、足立安男、仲川孝一郎、小泉義昭、 石川政昭、大木隆幸、井手尾達、幸野宗昭、 杵寄賢 町長 仁科喜世志 建設経済部長 平井輝久 上下水道課 課長 村上克司 課長補佐 藤原敏、井野直樹 係長 梅原和美、山田正和
議 題	諮問審議 函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道事業運営の 検証及び水道料金について
審 議 内 容	資料に基づき、田代、軽井沢、丹那地区簡易水道の 概要について、経営・投資シミュレーションについて 説明・質疑応答。 委員 家庭用の水道料金を統一した方がいい。仮に家 庭用の料金を50 m ³ で統一した場合、田代軽井沢区 域で20~30 m ³ 程度であった使用者の水道料金が 100 m ³ の水道料金から大幅に下がる。そうすると、 田代軽井沢の収益が下がるので、基本水量に対する 金額を上げてもいいのではないか。上水道も20 m ³ 2,000円程度なので、当簡易水道も2,000円にした 場合のシミュレーションをして欲しい。 委員 酪農の関係は、水量が落ちていると思う。酪農 が落ちているという形態も考えた方がいいのでは ないか。企業会計として、動力、現状の維持等、今

	<p>の債務負担をどうしていくかとみるとどうなるのか。一律 30% 上げればいいのか、20% なのか、40% なのか。事務局の方にその辺の案をどうなるのかみていただきたい。</p> <p>事務局 家庭用の料金を統一する中で、地域の実情を考えながら、30% ありきの考え方ではなくて、基本水量を下げて超過料金を増やすのか、それとも基本料金を上げるのか。上水道比べて基本水量も多く、地域性もあるので、いくつかのパターンに分けて示し、また意見をもらいたい。</p> <p>委員 この会議をもって料金を上げることが決定となるのか。</p> <p>事務局 審議会の結果イコール条例の改正と言うわけではない。審議会の答申をふまえながら議会に諮っていく。</p> <p>委員 30% の値上げで濁りに対する対策は含まれているのか。</p> <p>事務局 仮に 30% 値上げした場合の表では、700 万円の工事請負費を計上している。根本的な対策はろ過装置の設置等になるが、桁が一桁多い額となる。700 万円の中で濁り対策として検討しているのは、濁りを検知して流入を自動的に遮断する装置を検討している。根本的な解決とはならないが、濁った水がいかないような対策費を計上している。</p> <p>今日の意見をふまえた資料を事務局が用意し、次の審議会に諮っていく事で合意。</p> <p>今後のスケジュールについて、2 回目を 12 月、3 回目を来年 1～2 月に開催する案を考えているが、今回の審議内容は、水道料金に関する生活に直結する話であるので慎重に審議しなければならないので、この案でいいか諮ったところ、意義なし。</p>
備	考